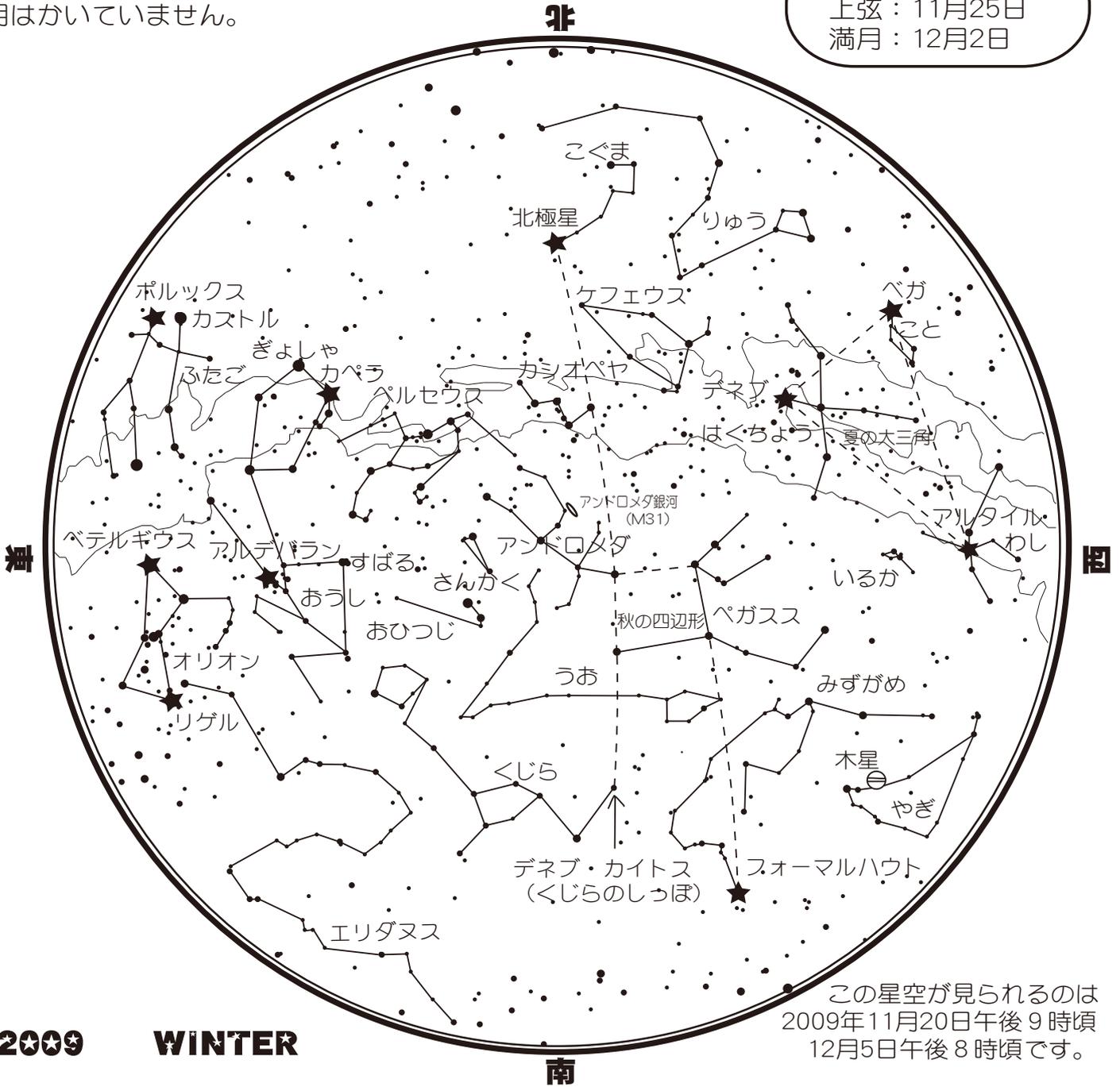


姫路で見る11月後半の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にしてください。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

新月：11月17日
上弦：11月25日
満月：12月2日



この星空が見られるのは
2009年11月20日午後9時頃
12月5日午後8時頃です。

2009 WINTER

★秋から冬へ★

頭の上で見られるのは、ギリシャ神話のエチオピア王家物語に登場する星座たちです。ペガサスの胴体に当たる「秋の四辺形」を見つけて、その東の一边を北にのぼすと、エチオピア王妃カシオペアやケフェウス王の姿を探ることができます。さらに北の方には北極星が輝いています。ペガサスのおへその星からは、アンドロメダ姫や勇者ペルセウスの姿をたどってみましょう。少しはなれた所には、ペルセウスに退治され石になって海に沈んだお化けくじらの姿も見られます。また四辺形の西の一边を南に

のぼしたところには、秋の星空でただひとつの一等星フォーマルハウトが輝いています。ほかにも秋の四辺形を目印に、星占いの星座みずがめ座やうお座などの星を探してみてください。

東の空には冬の星座の星が見えています。おうし座のすばるやアルデバラン、ぎょしゃ座のカペラ、オリオン座のベテルギウスやリゲル、ふたご座のポルックスとカストルを探ることができます。

暦の上ではもう冬ですが、星空で秋から冬への季節の移り変わりを感じてみてください。